

20. 岐阜県 (Gifu Pref.)

作成者:水谷治雄¹⁾・鈴木俊文²⁾; 協力者:河尻正敏・井澤眞

作成日付: 2003年5月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
EX	ウ	EX	ヒョウモンチョウ	-	-	小坂町,朝日村,高根村	1970年代以降高根村は記録なし	草刈りをしなくなったことによる,草地の樹林化等,環境の変化	-
EX	ウ	EX	ヒョウモンモドキ	-	-	土岐市,朝日村	1960年代以降記録なし	不明な部分が多いが,生息環境となる湿性草原の消滅が要因と思われる	-
EX	ウ	E	オオウラギンヒョウモン	-	-	春日村,白鳥町,萩原町,高山市,朝日村,高根村,上宝村	1960年以降記録なし	草刈りをしなくなったことによる,草地の樹林化等,環境の変化	-
EX	ウ	EX	シルビアシジミ	-	-	長良川(岐阜市,羽島市),杭瀬川(大垣市)の河川堤防	1982年以降確認されていない	草刈りや火入れが行われなくなったことによる,生息環境となるシバ草原の消失	-
EN	ソ, ツ	-	ツマグロキチョウ	-	飛騨地方(金山町,高山市,丹生川村,白川村,久々野町,古川町),美濃地方の各生息地	-	久々野町では1978年まで,高富町及び伊自良村では1988年頃までは多産していたが,現在はほとんど見られない	河川改修などによる食草の減少,久々野町では理由は不明だが食草が忽然となくなった(除草剤の散布か?)	カワラケツメイが生育できるような礫地の保全が必要
EN	ソ, ツ	E	ヤマキチョウ	-	朝日村,高根村,上宝村	-	-	農地や牧場の拡張のため,もともと少ない食樹が切られた	本種の食草クロツバラの生育場所は山間の湿地であることが多いが,こうした山地帯(ブナ帯)の代表的な自然植生の保全が特に必要
EN	オ, シ ソ, ツ	V	ヒメシロチョウ	-	古川町,国府町	小坂町,高山市,丹生川村,久々野町	1990年高山市で確認,以後目撃できない	生息している堤防の改修工事,河川堤防の草刈りが行われなくなったことなどによる生息地の減少と環境の変化	本種の生息環境となる草地の草刈り(ただし,場所,時期などに適切な配慮を要する)など,積極的な環境管理が必要
EN	ソ, ツ	V	ウラナミジャノメ	-	春日村,美濃加茂市	岐阜市,各務原市及び東濃地方の各地	1990年代に入り激減	不明な部分も多いが,生息環境となる落葉広葉樹二次林の伐採,放置等による環境の悪化.美濃加茂市においては圃場整備による生息環境の変化と農業使用(?)が要因	落葉広葉樹二次林の保全が必要
EN	ソ, ツ	V	オオヒカゲ	-	白鳥町,高鷲村,白川町,瑞浪市,土岐市,加子母村,岩村町,小坂町,高山市,丹生川村,清見村,荘川村,久々野町,朝日村,高根村,国府町,上宝村	-	1990年代に入り各地で激減	河川改修,湿地の別荘地等,開発による生息地の減少と生息環境の変化	本種の生息環境となる湿地の保全が必要
EN	ソ, ツ	V	クロヒカゲモドキ	-	根尾村,大和町,高鷲村,中津川市,岩村町,明智町,清見村,白川村,朝日村,高根村	-	1980年代に入り各地で減少	林を取り巻く草原の放置による生息地の減少と,生息環境の変化	本種の生息環境となる二次草地の草刈りなど,積極的な環境管理が必要
EN	ソ, ツ	E	クロミドリシジミ	-	串原村	明智町,上矢作町	1980年代以降減少が顕著	植林等による食樹クヌギの伐採	本種の生息地である落葉広葉樹二次林は里山の自然環境を代表する植生であり,その保全が必要
EN	ソ, ツ	E	ゴマシジミ	-	下呂町,久々野町,宮村,高山市,丹生川村,国府町	東濃地方の各地及び坂内村,白鳥町など	1990年代に入り各地で激減,もしくは絶滅状態	草地の放置による生息環境の変化,道路拡張等による生息地の縮小,自動車交通量の増加による自然環境の悪化	本種の生息環境となる草地の草刈りなど,積極的な環境管理が必要
EN	ソ, ツ ナ	E	クロツバメシジミ	-	高山市,丹生川村	-	1991年までは高山市では確認	過度の採集圧,発生地周辺の樹木の成長による食草の衰退	食草周辺の樹木の伐採など,環境管理が必要.2000年より樹木の伐採が行われたため食草は増加してきた
EN	ソ, ツ	V	チャマダラセセリ	-	大和町,白鳥町,高鷲村,中津川市,坂下町,明智町,萩原町,馬瀬村,高山市,丹生川村,清見村,荘川村,久々野町,朝日村,高根村,古川町	-	1987年頃より減少	草原の草刈りをしなくなったことによる叢化,樹林化等,生息環境の変化	本種の生息環境となる二次草地の草刈り等,積極的な環境管理が必要
EN	ソ, ツ	E	ホシチャバネセセリ	-	美濃加茂市,高根村	-	1960年代までは各地に記録があったが近年はほとんどなし	草原の草刈りをしなくなったことによる叢化,樹林化等,生息環境の変化	本種の生息環境となる二次草地の草刈り等,積極的な環境管理が必要
EN	ソ, ツ	V	アカセセリ	-	小坂町,久々野町,朝日村,高根村	高山市	1990年頃より減少(高根村)	草原の草刈りをしなくなったことによる叢化,樹林化等,生息環境の変化	本種の生息環境となる二次草地の草刈り等,積極的な環境管理が必要
VU	タ, テ	E	ヒメヒカゲ	-	可児市,御嵩町,多治見市,瑞浪市,土岐市,恵那市,岩村町,山岡町,明智町	中津川市	1980年代以降激減	宅地,ゴルフ場等への開発による生息湿地の大幅消滅.採集圧	本種の生息環境となる丘陵部山裾の湿地の保全が望まれる.「土岐市文化財保護条例」により本種の採集や指定湿地帯への立ち入りが禁止されている

20. 岐阜県 (Gifu Pref.)

作成者:水谷治雄¹⁾・鈴木俊文²⁾; 協力者:河尻正敏・井澤眞

作成日付: 2003年5月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
VU	タ, テ	V	コヒョウモンモドキ	-	高鷲村, 小坂町, 丹生川村, 清見村, 荘川村, 白川村, 久々野町, 朝日村, 高根村, 古川町, 神岡町, 上宝村	高山市	1960年代までは, 高山市も含め各地の生息地で普通に見られたが, その後各地とも衰退した	道路の拡幅等による生息地の減少・草原の放置による樹林化等環境の変化	本種の生息環境となる草原の保全が必要
VU	タ, テ	E	ムモンアカシジミ	-	春日村, 藤橋村, 白鳥町, 高鷲村, 高山市, 丹生川村, 荘川村, 白川村, 朝日村, 高根村, 神岡町	-	1980年代以降減少傾向。ただし時には局地的にかなり発生することがある	不明の部分も多いが, 落葉広葉樹林の放置による環境悪化及び針葉樹林への転換による生息域の減少	本種の生息環境となる二次林の間伐や下草刈りなど, 積極的な環境管理が必要
VU	タ, テ	V	ミドリシジミ	-	県内全域(局地的)	-	1980年代以降急激に減少	食樹ハンノキの自生する林の開発	本種の生息環境となる林, 湿地の保全が必要
VU	タ, テ	V	ハヤシミドリシジミ	-	明智町, 串原村, 上矢作町	-	1980年代以降減少が顕著	植林, 開発等による食樹カシワの伐採	カシワの自生する環境を残すことが必要
VU	タ, テ	V	キマダラルリツバメ	-	八幡町, 大和町, 白鳥町, 明宝村	養老町, 白川町, 東白川村, 加子母村, 付知町	生息地が知られるようになった時点ですでに個体数は少数, 以後減少の一途	本種幼虫の生息している古木の減少, 幼虫採集にまで及び過度の採集圧	本種の生息している古木の保全が必要
VU	タ, テ	V	クロシジミ	-	根尾村, 坂内村, 大和町, 白鳥町, 高鷲村, 御嵩町, 瑞浪市, 恵那市, 蛭川村, 久々野町, 朝日村	-	飛騨では, 1982年の久々野町での記録以降確認されていない	生息環境となる二次草地の放置による藪化, 樹林化等環境の変化	本種の生息環境となる二次草地の草刈りなど, 積極的な環境管理が必要
VU	タ, テ, ヌ	V	ミヤマシジミ	-	萩原町, 宮村, 久々野町, 朝日村, 神岡町, 上宝村	高山市	1970年代から高山市では見られなくなった	河川改修, 大水による食草の減少	コマツナギが生育できるような礫地の保全, すなわち, 定期的な草刈りを行うなど積極的な環境管理が必要
NT	ヌ	V	ギフチョウ	白川村, 清見村, 河合村, 宮川村	岐阜市, 高山市など左記以外で本種が生息するすべての市町村	上石津町, 垂井町, 池田町, 養老町, 南濃町, 平田町	1970年代から, ゴルフ場, 宅地等への開発により低山地の生息地が次々と消失。その後の採集圧により衰退に拍車がかかった	生息地の開発, 宅地化, 林床の藪化による食草の減少。採集圧及び食草の大量採取	本種が対象となっている採集禁止等の保護条例 - 「谷汲キフチョウ保護条例」, 「河合村キフチョウ保護条例」, 「高鷲村文化財保護条例」, 「金山町の花木鳥獣昆虫の保護及び育成に関する条例」, 「白川村森林等の適正利用による動植物保護条例」. このほか, 高山市, 萩原町, 伊自良村, 和良村などでは条例等の規定はないが自治体, 住民, 団体等から採集禁止等が呼びかけられている
NT	チ, ト	R	ミヤマモンキチョウ	-	丹生川村, 神岡町, 上宝村	-	大きな変化は見られない	登山者の踏み荒らしによる食草の消失や, 成虫の活動範囲の縮小など	年によって個体数の多少はあるが, 少ないながら安定して発生している
NT	チ, ト	R	クモツマキチョウ	-	丹生川村, 高根村, 上宝村	-	最近, 大きな変化は見られない	河川護岸工事, 砂防ダム工事等による生息環境の減少と変化	年によって個体数の多少はあるが, 少ないながら安定して発生している
NT	チ, ト	R	タカネヒカゲ	-	神岡町, 上宝村	-	大きな変化は見られない	登山者の踏み荒らしによる食草の消失や, 成虫の活動範囲の縮小などが考えられる	年によって個体数の多少はあるが, 少ないながら安定して発生している
NT	チ, ト	V	キマダラモドキ	-	高鷲村, 国府町	-	1980年代より減少	国府町では, 河川堤防の改修工事により壊滅的な打撃を受けた。高鷲村では, 別荘地の開発等により本種生息地である疎林等が減少した	堤防改修工事は, コンクリート化するのではなく自然の植生を取り入れて行うことが必要。また, 高鷲村のような生息地においては, 疎林等の連続性をもった保全が必要
NT	チ, ト	-	オオムラサキ	-	飛騨地方(高山市, 国府町), 美濃地方の各生息地	-	1980年代より越冬幼虫が明らかに年々減少している	雑木林の減少	成虫が活動できる雑木林の保全が必要
NT	チ, ト	R	オオイチモンジ	-	高山市, 丹生川村, 朝日村, 高根村, 上宝村	-	1980年代以降減少傾向	河川上流部におけるドロノキ林など河畔林の減少	ドロノキ林, ヤマナラシ林の保全が必要
NT	チ, ト	R	キリンシミドリシジミ	-	上石津町, 関ヶ原町, 春日村, 藤橋村, 洞戸村, 板取村	-	1980年代以降減少傾向	食樹アカガシの伐採	自然性の高い常緑広葉樹林の保全が必要。上石津町の天然記念物。上石津町の本種生息地は岐阜県環境保全地区に指定されている
NT	チ, ト	R	カラスシジミ	-	根尾村, 白鳥町, 小坂町, 丹生川村, 白川村, 朝日村, 高根村, 神岡町, 上宝村	-	生息地が知られるようになった頃, すでに個体数は少なく, 1980年代頃から特に減少傾向	道路の開設等による生息地の減少	ハルニレの保全が望まれる。県内では集落周辺のスモモを食樹としていることが多い

20. 岐阜県 (Gifu Pref.)

作成者:水谷治雄¹⁾・鈴木俊文²⁾; 協力者:河尻正敏・井澤真

作成日付: 2003年5月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
NT	チ,ト	R	ミヤマカラスシジミ	-	根尾村,美山町,春日村,久瀬村,藤橋村,白鳥町,高鷲村,美濃加茂市,朝日村,高根村,上宝村	-	1980年代以降減少傾向	食樹の伐採・針葉樹植林による生息地の減少と環境の変化	食樹クロウメモドキ,クロツバラの保全が必要
NT	タ,ト, ヌ	R	オオゴマシジミ	-	丹生川村,朝日村,高根村,神岡町,上宝村	-	1990年代後半より減少傾向	亜高山帯の草原の灌木化等(地球温暖化?)	本種の生息環境である林縁草地の保全が必要
NT	チ,ト	-	ヒメシジミ	飛騨地方の各生息地	東濃地方の各生息地	-	2000年代に入り極度に減少	日当たりの良い草原の減少	本種の生息環境となる草地の保全・創出が必要
NT	チ,ト	-	ギンイチモンジセセリ	-	根尾村,春日村,白鳥町,高鷲村,美濃加茂市,可児市,白川町,瑞浪市,土岐市,中津川市,恵那市,蛭川村,小坂町,高山市,丹生川村,清見村,荘川村,宮村,朝日村,高根村,上宝村	-	1980年代より減少傾向。ただし,本種の発生は年による変動が大きいため確たることは言えない	イネ科を中心とした植生の,日当たりの良い二次草地の放置などによる減少	本種の生息環境となる二次草地の草刈りなどの環境管理が必要
NT	チ,ト	-	スジグロチャバネセセリ	-	根尾村,上石津町,谷汲村,春日村,藤橋村,坂取村,白鳥町,高鷲村,白川町,中津川市,恵那市,付知町,福岡町,萩原町,下呂町,高山市,清見村,荘川村,白川村,久々野町,朝日村,高根村,上宝村	-	1990年代より減少	草原の草刈りをしなくなったことによる叢化,樹林化等,生息環境の変化	本種の生息環境となる二次草地の草刈り等,積極的な環境管理が必要
NT	チ,ト	-	ヘリグロチャバネセセリ	-	谷汲村,藤橋村,大和町,高鷲村,可児市,付知町,白川町,東白川村,恵那市,小坂町,朝日村,高根村,神岡町,上宝村	-	1990年代より減少	草原の草刈りをしなくなったことによる叢化,樹林化等,生息環境の変化	本種の生息環境となる二次草地の草刈り等,積極的な環境管理が必要
NT	チ,ト	R	タカネキマダラセセリ	-	北アルプス(上宝村)	-	厳しい環境に生息している種で,もともと個体数は少ないが,大きな変化は見られない	一部採集圧	少数ながら安定的に発生している
DD	ネ	EX	ヒメギフチョウ	-	平湯(上宝村)	-	1982年から記録がない	道路の拡幅,食草自生地へのササ類の分布拡大による生息環境の消失	鈴木俊文,1998.蝶研フィ-ルド13(2)143
DD	ネ	R	アサマシジミ	-	白川村,上宝村	-	-	-	本種の生息環境となる草地の保全が必要

1) 〒500-8314 岐阜県岐阜市鍵屋西町1-1 2) 〒506-0004 岐阜県高山市桐生町4-258